

発行: 社会医療法人あいざと会  
発行者: 久保 一弘  
住所: 徳島県板野郡上板町  
発行: 佐藤塚字東 288 番地 3  
電話: 088-694-5151  
FAX: 088-694-5321

# あいざと便り

ホームページ

## 特集① 歯科診療と口腔ケア

### 精神疾患を有する人の

### 歯科治療と口腔ケア

歯科医師 金谷 智恵子

口腔内には、歯面だけでなく、舌背、粘膜、歯周ポケット、咽頭等に七〇〇種に渡る細菌が棲息し、歯垢には、一グラム中千億以上、清掃不良になった場合は、一兆程度の高濃度の菌の塊が付着します。この菌は一つ一つばらばらに生きているのではなく、お互い結合しバイオフィーム集団となっています。このバイオフィームは、うがいや、抗生物質など服用するだけでは除去できません。歯ブラシ等で機械的に清掃しなければ落ちません。

口の中の細菌で特に歯周病菌は、誤嚥性肺炎、糖尿病、心臓疾患等の全身疾患への関わりが明らかとなり、歯周病は糖尿病の第六番目の合併症であるといわれています。

精神疾患を有する患者さん



は、対応上で色々な問題が起こりやすく、又、長期入院となったり、高齢化も進み、その結果、歯科治療が中断され口の中が無残な状態になってしまいます。さらに、薬の副作用による唾液の減少、口腔乾燥等のトラブルも起こります。

口腔の衛生状態の悪化を少しでも無くするため、不安にさせないよう、ゆつくりとした治療を試み、他職種の支援を受けながら定期的な口腔ケアを行い口腔環境の改善をととのえていきたいと思えます。

身体と密接になっている摂食・嚥下、栄養状態を改善するにも、口腔内の清潔が一番大切です。

### 目次



- 特集1 歯科診療と口腔ケア.....P1
- 特集2 新館と精神科診療.....P2
- 特集3 地域における精神科医療.....P6

### 《あいざと便り 29号も「新館」特集号》

新館「A 館」が完成して、半年近くが経ちました。建物の増築だけでなく、設備と環境の整備を行い、常時利用者の方々により良いサービスを提供できる病院となりました。

5月1日に救急急性期病棟(A館2階へ)と開放病棟を移動し、更に7月5日にもう一度病棟移動を行って新しい入院診療体制となりました。連休中に外来管理棟も移動し、連休明けから外来診療を開始しています。歯科診療は7月27日から開始し、口腔ケアへの取り組みも始めました。

本号は、「新館」に関する特集を3つに分けて組みました。

# 特集②

## 新館と精神科診療

### 多職種連携と サービス向上の実現

副院長 元 木洋介

平成二十八年四月に新館（A館）が完成し、その後の引越しや転棟などはスムーズに行われ、大きなトラブルはありませんでした。スタッフの尽力や患者の皆様の協力のおかげだと思っています。

その新館の建設が決まる数年前から、スタッフと一緒に徳島、高知、岡山、京都などに新築された病棟を見学に行きました。その多くの病院で他職種が混在するスタッフルームを採用していました。これを踏まえ、①細かく別れていた医局を大きな一部屋にまとめ、②事務・精神保健福祉士・心理士・訪問看護スタッフ・作業療法士を一部屋に集めました。



スタッフフロア

ひとつところに集まることにはどんなメリットがあるのでしょうか。患者さんに直接的な関係は無いかもしれませんが、職種を超えた連携や情報の共有を目的としています。

治療に難儀しているケースについて診断や治療内容を相談しあえることは、迅速でより良い治療を期待出来ます。また、経済的な問題や地域でのトラブルに対し有効な制度やサービスが判れば、生活の質は大きく改善します。

これまで入院直後や退院を控えたケースに対しては地域の方や患者本人も交えた形で多職種と一緒にケース会議などを行ってきました。ハードウェアでそれを後押しすることを目指しました。もちろん一部屋に集まっているだけで化学反応が起こるように急な変化は期待出来ません。私も含めたスタッフ一人一人の共同する姿勢がもつと問われることになるでしょう。更なるサービスの向上やケアの改善が実現できるように尽力していきます。

### 外来のシステムと診療

外来看護師 主任 上野 策美



当院外来は快適でスムーズな外来診療の提供を目標に、平成十八年四月より予約制を実施しております。初診の患者さんは受付後、専門スタッフ（臨床心理士、精神保健福祉士）による予診を行い、検査や診察の流れとなっています。

新館になり再来受付機及び呼び込み表示システムの導入を行っています。患者さんへの一層のサービス向上を図るため、受付から診察までの流れをスムーズに行い、診察終了後も会計と連携することにより患者さんをお待たせることのないよう努めております。

診察室は救急対応を行う救急室を含め、八室あり、状況に応じた対応を行っており、警察や救急車の出入り口を設け、プライバシーに配慮したレイ



アウトとなつていま  
す。診察に来られる  
患者さんは統合失  
調症、うつ病、依存症  
患者さんが主で高齢  
化に伴う認知症患者  
さんの受診も多く  
なっており、五月の新  
館オープン時から新  
患数は増加傾向にあ  
ります。新館外来は  
以前の問題点を改  
善し、待合室を広く  
とり、明るく開放的な造りになっていきます。安全安心、高度な医療だけでなく、プライバシーに配慮した快適な環境でのサービス提供に努めながら、今後信頼される病院を目指すとともに、患者さんがスムーズに診察を受けられるよう今後も努力していきたいと思ひます。

## 全室個室化可能病棟と看護

急性期治療病棟師長 坂本 千恵子

平成二十八年五月、全室個室可能な急性期治療病棟が完成しました。(六十三%個室対応で開始)これまでの精神科の病室といえば多床室がほとんどで、個室といえは重症者が使用する数床と室料差額が設けられていました。多床室看護に慣れている私たちは、新病棟が稼働するにあたり「死角が多

く観察がしにくい」「急変時の対応が遅れる」など危険リスクが高くなることを懸念しました。患者さんは個室化することでプライベート空間の確保ができ、周囲を気にせず休息できるようで、多床室でよく見られていた対人関係による部屋移動は殆どなくなりました。しかし、少数意見として「寂しい」という声



全室個室化可能として使用中の病室。  
写真は2床室と個室の2写真

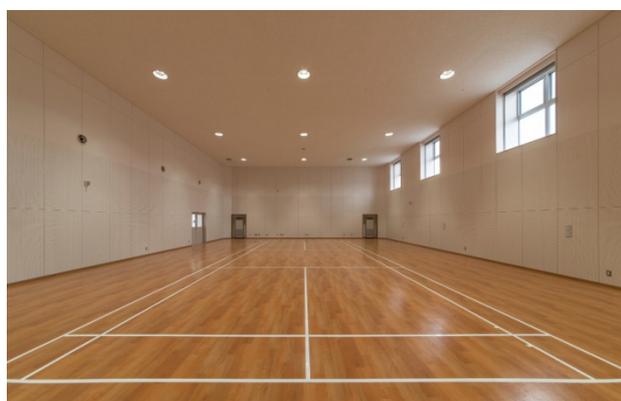
も聞かれます。また、個室で過ごすことにより他患者との交流がなく、情報が乏しく不安を感じている患者さんもいるようです。

近年は核家族化し家庭でも個室での生活が当たり前となり、社会性が乏しく人間関係が希薄となっております。精神疾患のある患者さんは、社会性を喪失していることが多く、対人関係面でも適度な距離を保ちにくい、他者との交流が精神的負担となりや

## 作業療法と大ホール

作業療法室 主任 佐竹 真一

すいと云われています。それらを考えるとこれからの精神科での病室が個室であることはごく自然な形であると考えます。治療環境における「安心」は最も重要な要素です。個室化による危険リスクの高さがあることを念頭に置きながら、患者さんのニーズにあつた個別的な看護を提供していきたいと思ひます。また、二カ所のデイルームは、あたたかい対人交流の場となるよう努めたいと思ひています。



藍里病院は、平成二十八年五月九日にA館がグランドオープンし、三階に大ホールが出来ました。広さは約二七九㎡、天井高は六m、椅子が約二百脚設置可能です。照明も多く、ホール全体がとても明るい

です。照明は、明るさの調節も可能です。また、舞台、大型スクリーン、プロジェクター、スピーカー、通信カラオケ、マイク、エアコン、暗幕、防音壁等、多

くの設備が備えられています。空調設備により夏も冬も快適な温度で使用できます。

作業療法では、各病棟の患者さんを対象に、計画して大ホールを使用しています。プログラムはカラオケと音楽です。カラオケでは、広い場所で大型スクリーンに映された映像を見ながら歌うことが出来ます。その為歌っている人は、アーティスト気分です。歌うことが出来、また聴いている人は、大型スクリーンの映像も見ながら楽しく聴くことが出来ます。音楽では、用意した曲の中からリクエストされた曲を順番に流していきます。こちらのプログラムでも、広い場所で行ったりと座り、リラクゼーションして聴くことが出来ます。今後は、バトミントンなどのスポーツにも使用が可能です。作業療法は病棟で行うプログラムのみでなく、大ホールを使用して行う事で、患者さんの活動の幅を広げています。

その他にも平成二十八年七月一日には、敷地内禁煙十周年記念講演会も開催されました。平成二十八年八月十八日には、病院行事の藍涼祭を行うことも出来ました。

このように大ホールは、作業療法や各講演会、病院行事等、多目的に使用することが出来ます。

## 依存症治療と自助グループ活動

看護師 主任 藤原 稔章  
(依存症認定看護師)

藍里病院では、依存症治療として、ビデオ学習、コミュニケーションスキルアップセミナー、SMARTPP(認知行動療法)、勉強会など、充実したアルコールリハ

ビリテーションプログラム【以下ADP】を実践しています。またスタッフ主体のADPだけでなく、同じ苦しみや問題を持つ者同士が出会い、互いに励ましあひながら病氣や障害を克服していく自助グループ(断酒会やAAなど)についても、当院では開院以来、一貫して支援を続けています。現在、依存症の範囲は急速に拡大しており、ギャンブル依存症のG、薬物依存症のN、万引き・盗癖に苦しんでいる人たちのミーティングMなど、様々な依存症を対象とした自助グループが開かれています。また、二〇一三年からはO(ADP)も実施し、依存症患者本人との対応に悩み苦しんでいる家族に対する援助プログラムを提供しています。家族支援にも力を入れており、家族を対象とした自助グループとの連携も大切にしています。

この度、病院新築にあたり、こうしたADPや自助グループの実施も新棟で行われるようになり、新しい建物で心機一転スタートをきっています。特に今までの建物の構造では、病院への出入りがスムーズではなかったのですが、夜間出入り口近くのミーティングルームによって、その問題が解消され、今まで以上に、医療と自助グループとの連携が深まることを期待しています。これからも藍里病院は、地域と共に生きる医療を目指し、今も苦しみを抱えている人たちの出会いの場を支援していきたいと思えます。



## 薬局

薬剤部長 品川 佳子

新館の薬局は明るく広く、また、室内も動きやすく、効率よく仕事ができる環境になりました。主に電子カルテに連動した自動分包機によって調剤を行います。調剤薬剤の点検、保管を行いやすく、薬剤倉庫も薬局内に設けられ、安全に薬剤業務が行いやすくなりました。

業務面では、六月に主要抗精神病薬の後発薬が発売され一部採用、また、抗精神病薬初の舌下錠が発売され採用等で、薬について不安がないように患者さんへの説明、服用具合等を確認しています。

院外調剤薬局にも協力していただき患者さんの感想等を聞かせていただきました。幸い、院内外共に説明を理解して頂き、特に不都合無く服用していただいているようで安心しています。

病棟ではクリニカルパスが活発に行われ、薬剤師も他の医療スタッフと連携しながら微力ながらチーム医療に参加しています。

気持ちも新たにこれから患者さんの声を大切に業務に取り組みでいきたいと思えます。

# 事務処理の効率化と構造

事務部長 山根 伸彦

新館（A館）事務室は約百九十㎡（約五十七坪）の広さがあり、訪問看護（看護師三名、作業療法士一名）、相談室（精神保健福祉士十一名、心理士二名）、作業療法室（作業療法士六名）が仕事をしています。

同一フロアで多職種が業務をすることにより、他の職種との打ち合わせ・相談・情報交換がスムーズになり、また、他職種がどのように仕事をしているかを自然と理解することができ、連携が強化できています。

設備面では、再来受付機を導入しました。再来受付機は画面の見やすい液晶で、文字も大きく操作も簡単に行えます。患者さんの受付時の混雑がなくなり、事務の受付作業も大幅に軽減され、サービス向上、業務の省力化につながっています。

また、スペースプレーヤー（天井より壁面へ投射）の新設により、多くの掲示物を効果的・効率的に利用者の方にご案内できるようなり、好評を得ています。



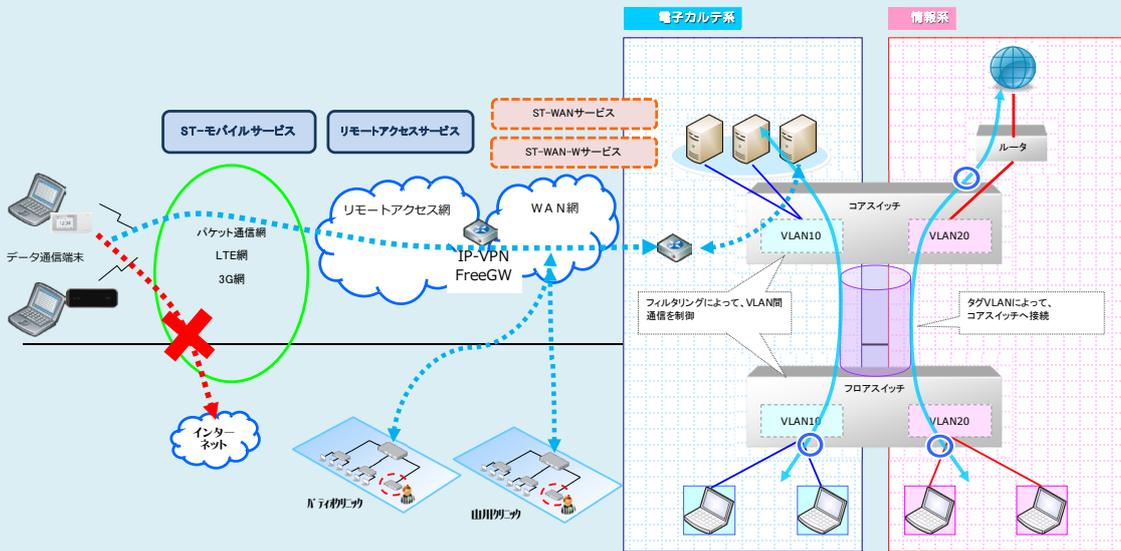
# ICTと診療

情報室 主任 鎌田 健司

平成二十八年五月より新病院建屋の運用が開始され約五ヶ月が経過しました。

現在、パテイオ・山川の二カ所のクリニック及び藍里病院間をSTNetの専用光回線で接続し、双方向からのカルテ参照及び操作が可能となっております。

今回のネットワークは論理的に系統分けするVLANによる分割ネットワーク構成にし、スイッチの通信制御により、論理的に分かれているので、電子カルテ系・情報系間は通信不可な状態が保たれています。また、無線アクセスポイントを事務フロア、病棟フロア、医局フロア、会議室及びホールに設置し、無線での接続を可能にしました。

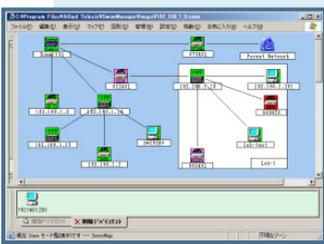


そのため、医師及び精神保健福祉士にはノートパソコンを配備し、各フロアでの無線運用を可能としました。また、訪問看護にもノートパソコンを配備し、訪問先からのモバイル運用で患者情報の入力が可能にし、少しでも訪問看護の入力作業が就業直前に集中しないように分散することで、効率を図るように実施しています。

病棟でのバイタル入力、患者情報の確認等が病室で出来るように近い将来考えて行く予定です。

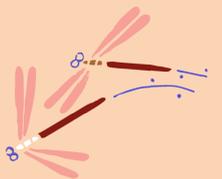
今回、病院機能評価の統合版評価項目VSOの中にも、情報システム管理機能として「情報システム管理の体制が確立している」ことが明記されました。

そのため、監視ソフトを導入し、院内「LAN」をマップ表示が出来るようになり、それを情報室で集中管理することにより問題箇所の特定がスムーズに行われ、病院運営に支障が出るシステムの停止時間を最小限に抑えることが可能になりました。



# 特集③

## 地域における精神科医療



### 新しいデイケアセンター

デイケア 室長 岩瀬 伊都子

#### □新館デイケアについて

新館西側、夜間出入口を入った直ぐ右側にリニューアルしたデイケアセンターがあります。現在一日五〇人まで利用可能です。(一日七〇人利用可能な施設基準も有しています。)

建物内は、白を基調とし明るく、清潔感がある内部で、約二九四㎡の室内には利用者さん達と触れ合いながら調理のできる大きなアイランドキッチンがあり、料理中も孤立することなく、会話を楽しみながら楽しい雰囲気での調理をすることができ、カウンター側よりの観覧や、コミュニケーションも取りやすくなっています。また、大容量のカウンター収納スペースの確保、トイレ(洋式)・シャワー室(無料)も男女別々に設置。緊急ブザーが上下に設置され、緊急時も早急な対応が可能です。他、畳コーナーも設けられています。畳は人の五感にやさしく、利用者の方々も休憩時間を利用して、足を延ばしたり、臥床をしたりと安らぎを感じているようです。



### 『断らない』精神科救急と相談センター

相談室 主任 庄野 忠雄

当院では、平成二十三年に、こころの医療福祉相談センターを開設し、精神保健福祉士(ケースワーカー)が、二十四時間体制で、ご本人、ご家族、警察、消防等からの受診相談から、日常生活上の悩みまで、広範に、電話相談を受け付けています。

もし、患者さんが不調になった時は、いつでも、夜間休日問わず、受診・入院できる体制を整えています。新館は、昼間も夜間も精神科救急に対応しやすい構造となっており、必要時は、急性期・回復期の入院治療を経て、住み慣れた地域やご家族との距離が開かない内に、早期に帰って頂き、在宅での治療や訪問看護、福祉サービスを受けながら、その人らしく地域で生活できるように、お手伝いします。

今、医療・福祉サービスは、「入院(施設)から地域へ」と移行しています。それは精神科領域においても変わりません。当相談センターとしては、法人内のサービスだけでなく、地域の関係機関とのネットワークをもつて、患者様が、いつでも二十四時間、安心して必要なサービスを受けられる、住みよい地域作りを進めていきたいと考えています。

**24時間365日 精神保健福祉士による**  
**あいざと・こころの医療福祉相談センター**  
精神科救急、こころの医療相談、暮らしの相談を受け付けています。  
**TEL 088-694-5151**

デイケア南側（売店前）ドアを入ると、スライドイングウォール（移動式仕切りパネル）が設置されており、簡単に空間を仕切れるため、個別のユニットや、リラクゼーション（アロマ）、音楽等に使用できプログラムの幅が広がっています。

その他、外部講師を迎えてのプログラム（陶芸お茶お花習字・ペン習字・コースも好評です。（陶芸には別室に電気釜も設置しています。）

#### □「デイケア診療計画書」について

平成二十八年四月に診療報酬が改正になり、「デイケア診療計画書」を作成することになりました。作成にあたり、スタッフより利用者の方に事前に、「参加時の目標」、「参加希望プログラム」、「利用希望回数」等をお聞きします。

主治医からは、「デイケア利用についての必要性」、「必要期間」、「利用頻度」等、必要事項が書き込まれますと、説明を致しますので、納得されたら同意の署名をして頂きます。終了後デイケア診療計画書をお渡しします。（この計画書は六か月毎に更新されます。）

利用者一人一人に対し、①生活の自己管理②病気の自己管理③病気の症状④社会的、対人的能力⑤社会的活動への取り組みや社会資源の利用等、二十五項目について検討する他、事前に取り組みをした内容についてどのように取り組んでいるかなど、スタッフが三ヶ月毎に評価を行っています。

より自立した生活になるよう、新しくなった「デイケア」をご利用下さい。

## モバイル訪問看護と他職種連携

入院期間短縮化と、早期の在宅復帰を標準化する方針により、訪問看護などの在宅サービスへの依存度が高まり、精神科訪問看護依頼件数も増加の一途です。

あいざと会では、在宅医療サービスの一環として、藍里病院、山川クリニック、蔵本パティオクリニックより、精神科訪問看護サービスを提供しておりますが、増加する依頼件数に対応するため、本年三月より、記録入力のモバイル化に取り組んでおります。

モバイル端末を使用し、訪問先や移動中に電子カルテへ記録入力することで、業務効率の向上を目指しました。

導入時の問題には、スタッフより意見として聴取した、利用者のパソコンに対する抵抗感や個人情報への取り扱いに対しては、訪問先に持ち込むにあたり、不利益を生じることがない旨を慎重且つ丁寧に説明を行い、対処しました。端末使用に理解を得た訪問先での問題は、特に無く経過しています。

導入後、半年が経過し、院内での訪問看護記録入力時間が短縮化でき、利用者への迷惑に至らなかつたことが最大の成果である他、訪問先で、診察・処方内容や検査値、デイケア、作業所、相談の状況などを情報収集できることや、メールによる伝達を受けることなど、多々他職種連携の上でも役立つています。

今後においても、モバイル化によるメリットを見だし、サービスの質向上に寄与したいと思っております。



訪問看護室 看護師長 片山 秀史



# 藍里病院

精神科・心療内科・内科・歯科

精神科デイ・ケア 精神保健相談  
精神科訪問看護 禁煙 外来

### 受付

(午前) 月～金曜日 午前 9:00～11:30  
(午後) 月～水・金 午後13:00～16:00

### 診療

(午前) 月～金曜日 午前 9:30～12:30  
(午後) 月～水・金 午後13:30～16:30

### 休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、木曜午後

### 歯科診療

(午前) 月・水・金 午前 9:00～12:00  
(午後) 月・水・金 午後12:45～15:45

外来	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土・日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
新患	新患の場合は、担当医が順次診察を行います。											休診日
再来	久保	久保	山下	吉田成	中木	藤本	山下		生越	岡部		
	吉田精	藤田	元木		久保		鬼原		吉田精	森垣		
		大学3			大学2	大学2	吉田精		大学1	大学1		
	城福☆↓											
専門外来	城福: 児童思春				久保: 禁煙外来		藤本: 老年期		吉田精: 依存症			
							吉田精: 依存症					
内科	多田		多田						多田			
歯科	金谷	金谷			金谷	金谷			金谷	金谷		

休日・時間外の救急  
診察を受付致します

〒771-1342

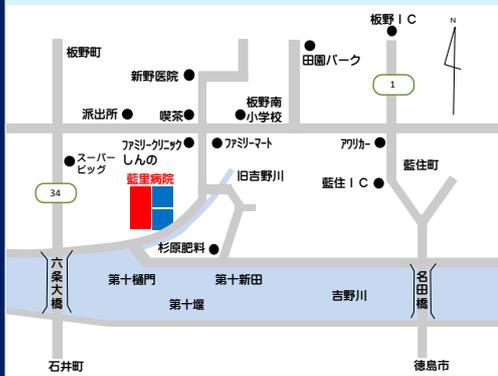
徳島県板野郡上板町佐藤塚字東288番地3  
TEL 088-694-5151 FAX 088-694-5321

### 交通案内

- 徳島バスご利用の場合  
北岸廻り/徳島～鴨島線(一条経由)第十新田又は第十樋門下車-徒歩10分
- JR・タクシーご利用の場合 ●自動車道ご利用の場合  
蔵本駅より-車で約15分 高松道板野ICより-約10分 徳島道藍住ICより-約7分  
板野駅より-車で約10分 石井駅より-車で約12分

あいざと会 医療福祉相談センター **24時間365日受付** TEL 088-694-5151

「精神科救急・一般的精神医療相談・生活相談」等の時間外相談に対応



## あいざとパティオクリニック

### 心療内科・精神科

(精神科訪問看護、地域連携、精神保健相談実施)

受付 (午前) 月～水・金・土 午前9:00～12:00  
(午後) 月～水・金 午後1:30～6:00  
土曜日 午後1:30～5:30

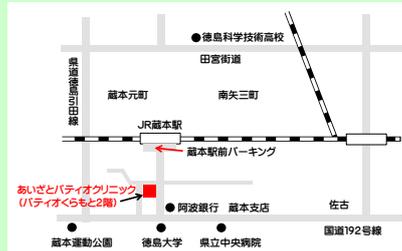
診療 (午前) 月～水・金・土 午前9:30～12:30  
(午後) 月～水・金 午後2:00～6:30  
土曜日 午後2:00～6:00

休診日 日曜日・祝祭日・木曜日

外来	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
新患・再来	山下 吉田成	元木 吉田成	森垣 吉田成	中木	吉田精 吉田成	山下 吉田精			藤本	藤本	山下 吉田成24	藤本135 吉田成24
専門外来	山下 ストレス	吉田成 もの忘れ			吉田精 依存症	吉田精 依存症				藤本 うつ病	山下 不眠	

### 交通案内

- バスご利用の場合  
県立中央病院・大学病院  
前下車-徒歩3分
- JRご利用の場合  
蔵本駅より-徒歩約3分
- 駐車場=蔵本駅前パーキング  
をご利用下さい  
受診時は無料になります。



770-0042 徳島県徳島市蔵本町2丁目30番地1パティオくらもと2階  
TEL 088-634-1881 FAX088-634-1880

## あいざと山川クリニック

### 心療内科・精神科

(デイ・ケア、精神科訪問看護、地域連携、精神保健相談実施)

受付 (午前) 月～水・金・土 午前9:00～12:00  
(午後) 月～水・金 午後2:00～4:00

診療 (午前) 月～水・金・土 午前9:30～12:30  
(午後) 月～水・金 午後2:30～5:00

休診日 日曜日・祝祭日・木曜日

外来	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前						鬼原 135 中木2 元木4
午後	鬼原	岡部	鬼原	休診日	鬼原	

### 交通案内

- JRご利用の場合  
阿波山川駅より 徒歩8分
- 駐車場=クリニック内及び  
表示場所



779-3403 徳島県吉野川市山川町前川200番地2  
TEL 0883-42-8811 FAX 0883-42-8812